

会計名			各種大会補助事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国大会等を本市に誘致することで、競技者の拡大や青少年の健全な育成、競技力向上及び競技団体の強化を図るとともに、市民が間近に観戦する環境を整え、見るスポーツの促進を図り、市民が多くスポーツに触れる機会を提供する。	主たる内容	○全国大会等開催費用の一部助成					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市体育協会へ関連する競技団体	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付する。	
成果		全国レベルの大会等を誘致することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、「みる・ささえるスポーツ」を通じて、スポーツ活動に参加できるきっかけづくりを行った。また、青少年がスポーツに親しみ、競技力の向上や幅広い交流を行う機会を支援し、青少年の健全育成を図った。							
課題		みる、ささえるスポーツを通じて、本市の更なるスポーツ振興をはかるため、事業を充実させ、全国大会や世界大会の積極的な誘致を行う。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		大会数（大会）		19	19	19	19	20	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,902	7,411	10,226	13,592	合計 10,225,530 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 10,225,530 円		
		一般財源	7,902	7,411	10,226	13,592			
	職員人件費 ②		1,760	1,959	1,954	1,138			
	総事業費（①+②）		9,662	9,370	12,180	14,730			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会補助事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が、主体的にスポーツに親しむきっかけとなり、生涯スポーツ社会の実現に向け、必要な事業であると考えられる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	本市の有料施設使用料相当額分を補助するもので、使用料は市の歳入となり相殺されるため、本市として大きな負担なくトップレベルの大会誘致ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	スポーツの重要性を再認識してもらい、市民のスポーツ活動への動機づけを行うことで、本市のスポーツ活動の推進が図られ、市が主体となり積極的に推進する事業であると考えられる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」に向け、みるスポーツ等の観点から、市民がスポーツを楽しむことができる環境づくりに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
スポーツに対する市民ニーズが多様化している中、市民がさまざまなスポーツに触れる機会を設け、競技の普及、競技人口の拡大、競技レベルの向上等を目指すとともに、スポーツを楽しむことができる環境を整えることで、生涯スポーツの推進が図られる。重要な事業であり、今後も継続する必要がある事業と考えられる。					

会計名 一般会計			スポーツ教室開催事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	2					担当係	普及係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	市民に対してスポーツへの動機づけと健康増進を図るとともに、子どもの体力向上、女性の社会参加、高齢者の体力向上を目指す。	主たる内容	○各種スポーツ教室の開催					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・市主催 9教室を各年3期開催 延べ参加者数 6,295人 ・連盟主催教室への助成 助成団体数 2 卓球 1教室（3年目） テニス 1教室（2年目）		・市主催 9教室を各年3期開催 延べ参加者数 6,081人 ・連盟主催教室への助成 助成団体数 1 テニス 1教室（3年目）		・市主催 9教室を各年3期開催 延べ参加者数 6,118人 ・総合運動公園体育施設の指定管理者再指定に合わせ、教室の運営主体を市から指定管理者へ移管する作業を実施		・総合運動公園体育施設指定管理者が指定管理業務（市指定事業）として実施 ※教室の運営主体を市から指定管理者へ移管 9教室を各年3期開催 総定員数 1,185人	
成果		・市民の体力増進、スポーツの知識技能習得が図られたほか、子どもの体力向上、女性の社会参加、子育て支援、高齢者のスポーツへの啓発等となる教室を開催することにより、スポーツ活動への参加機会を提供・拡大できた。 ・指定管理者との連絡調整を密に行うことにより、業務引継ぎを円滑に行うことができた。							
課題		・指定管理期間内において、指定管理者による既存事業との重複や各競技団体等への実施主体者の移行の可能性等を見極めていく必要がある。 ・競技の普及・競技人口の拡大といった競技団体としての設置目的に照らし、競技の専門性と民間団体としての柔軟性を活かし、各競技連盟等による自主運営が可能となるように、さらに育成に努める必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
成果指標		各種大会、イベント参加者数（人）		12,685	12,792	12,689	13,000	13,000	
指標									
他市との比較検証		・スポーツ教室は近隣各市で開催されていますが、基本方針、事業主体、種目、規模等異なるため、一概に比較検討することは難しい。							
C 事業コスト V		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,653	4,560	4,196	0	合計	4,196,303 円	
	財源	特定財源	2,101	2,080	2,060	0	報償費	3,636,000 円	
		一般財源	2,552	2,480	2,136	0	需用費	227,383 円	
	職員人件費 ②		2,816	3,134	2,735	0	役務費	332,920 円	
	総事業費（①+②）		7,469	7,694	6,931	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		スポーツ教室参加料					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			スポーツ教室開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	スポーツをはじめきっかけづくり、女性や高齢者等の健康増進、社会参画、子どもの体力向上に資する教室を主に開催しているため必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	カンガールームを設置し、子育て中の方にも参加しやすい等の環境を整えた教室の開催。また子ども向けの教室は、愛知教育大学の保健体育講座等に学外学習の一環として学生を、タグラグビー教室は豊田自動織機ラグビー部OB等を派遣してもらう等、専門性も高めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民スポーツの普及振興を目指しているため、市民のスポーツ活動への動機づけ、健康についての理解を深めるため必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策（スポーツをはじめきっかけづくり）として推進を図っており、だれもが生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じ、主体的にスポーツに親しむことの出来る生涯スポーツ社会の実現に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後については、指定管理期間内において、指定管理者による既存事業との重複や各競技団体等への実施主体者の移行の可能性等を見極め、教室の継続実施や各競技連盟等への実施主体の移行を検討していく。					

会計名		ホームタウンパートナー事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	普及係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国や世界で活躍するスポーツチームの情報等を市民に周知することで、地域に親しまれるチーム作りに寄与するとともに、見るスポーツの促進を図り、本市の更なるスポーツの活性化に寄与する。	主たる内容	○ホームタウンパートナー連絡会の開催（年3回） ○刈谷キラキラ教室の開催 ○ホームタウンパートナーチーム啓発用リーフレット等の作成 ○ウィングアリーナ（WA）刈谷等での啓発活動の実施					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民、ホームタウンパートナーチーム	事業期間	平成27年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 リーフレット・横断幕作成 市民だより及びホームページでのPRの実施 オアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 		<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 リーフレット・うちわ作成 市民だより等でのPR実施 WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 観戦動員の実施 5試合 		<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 啓発物品の作成 市民だより等でのPR実施 WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 観戦動員の実施 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンパートナーチームが全国で活躍することにより、刈谷市を全国にアピールすることができた。 国内最高レベルの試合を間近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、トップアスリートによる子どもたちへの技術指導、中学校部活動部員のホームゲームへの招待等を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民スポーツの推進を図ることができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> パートナー制度の趣旨や目的に対する各チームや母体企業の理解の深化。 事業を推進するにあたっての、各チームを始めとする関係各所との連携の一層の強化。 パートナーチームに所属しない個人競技者への支援のあり方についての検討。 							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		刈谷キラキラ教室実施回数（回）		—	2	2	2	3	
成果指標		市民の各チームの認知度（％）		—	—	—	55.0	60.0	
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> トップレベルの多くの競技に身近で触れ合うことが出来る、全国的にもあまり類を見ない本市のスポーツ環境は、スポーツ振興を図る上で、本市の大きな強みとなっている。 							
C 事業 コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	272	366	1,289	合計	366,306 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	24,000 円	
		一般財源	0	272	366	1,289	需用費	317,250 円	
	職員人件費 ②		0	3,525	3,126	3,035	負担金、補助及び交付金	25,056 円	
	総事業費（①+②）		0	3,797	3,492	4,324			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			ホームタウンパートナー事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	様々な競技で、日本トップレベルのチームやアスリートが市内に数多く存在しているという、全国でも類まれな恵まれたスポーツ環境、すなわち、本市の強みや特性を活用した事業であり、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために非常に有益な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	事業の実施にあたっては、パートナーチームの理解の下、グッズや観戦機会の提供、地域貢献活動としての本市事業への積極的な協力などをいただいております。市民協働による取組みの推進として、事業の実施に係る効率や妥当性、費用対効果は高いと思われる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	住みよいまちづくりや市の魅力発信のために、市が市の強みや特性を活用した事業を主体的に実施することは、必要かつ不可欠なことであると思われる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っており、「する、みる、ささえる」スポーツを通じた魅力あるまちづくりに貢献している。	
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	<p>第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として位置づけられており、また、恵まれたスポーツ環境を有する本市だからこそ実施できる特色のある事業である。本事業は、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために非常に有益となっていると思われるので、今後についても、各パートナーチームとの連携の強化等を図り、事業の一層の充実を目指していく。</p>				

会計名		国際大会等招致事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	指導係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	国際スポーツ大会等を誘致することで、次世代を担う青少年に夢や希望を与えるとともに、スポーツとのふれあいを通じて、市民が主体的にスポーツと関わる「豊かなスポーツライフの実現」に取り組む。	主たる内容	○国際スポーツ大会等の招致活動の実施 ・誘致推進委員会の開催 ・関係機関や競技団体への訪問等による調査、情報収集及びPRの実施					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民、競技団体	事業期間	平成28年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> 国際スポーツ大会等誘致推進委員会の設置 推進委員会の開催 2回 フットサル国際親善大会の開催(4月ウイングアリーナ) 日本バスケットボール協会等への訪問等による国際スポーツ大会等の招致に関する調査、PR等の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 国際スポーツ大会等誘致推進委員会の開催 2回 バスケットボール女子国際親善大会の開催 Fリーグプレシーズンマッチの開催 競技団体等への訪問等による国際スポーツ大会等の招致に関する調査、PR等の実施 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 誘致推進委員会の開催により、誘致に関する事項について関係団体等との情報共有や意見収集を行うことができた。 フットサル国際親善大会の開催により、市民にハイレベルな競技を観戦する機会を提供するとともに、また、本市の大会運営能力の高さを国内外の関係者にアピールすることができた。 さらなる国際スポーツ大会等の開催を目指し、関係団体と情報交換等を行うことができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック競技大会出場国キャンプ地誘致に係る誘致目標国の絞込み及び目標国の競技団体関係者等に向けた外国語媒体等による招致PR活動。 							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		国際スポーツ大会等誘致推進委員会開催回数（回）		—	—	2	2	2	
指標									
他市との比較検証		・2020東京オリンピック・パラリンピックの事前宿地の誘致について、愛知県内では刈谷市の他、碧南市、豊田市、安城市など15の自治体が誘致を目指している。（※あいちスポーツコミッションHPより）							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	416	3,200	合計	416,484 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	70,400 円	
		一般財源	0	0	416	3,200	旅費	288,240 円	
	職員人件費 ②		0	0	1,563	3,414	需用費	57,844 円	
	総事業費（①+②）		0	0	1,979	6,614			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			国際大会等招致事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	ハイレベルなスポーツ競技大会を開催することで、「スポーツのまち刈谷」を内外にアピールするとともに、本市における更なるスポーツ振興が図られ、スポーツを通じた青少年の健全育成、生きがいづくり等、本市のまちづくりに大きく寄与するものである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	他市にはない本市の特性を生かした取組みであり、スポーツを通じたまちづくりを推進するために適している事業の1つである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	スポーツを通じたまちづくりを推進するために、市が主体となって実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民ースポーツ」の実現に向け、その施策の1つである「みるスポーツ」の推進を図る上で、貢献度の高い事業である。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
第2次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民ースポーツ」の実現に向けた施策の1つとして、今後も事業の拡大を図り、国際スポーツ大会等の誘致を積極的に実施し、スポーツを通じたまちづくりを推進する。					

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	クラブ・団体の育成						
	目的	地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、青少年育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としての効果を期待する総合型地域スポーツクラブの育成を図る。	主たる内容	○総合型地域スポーツクラブへの運営補助 ○各クラブの自立に向けた調査研究事業委託（総合型地域スポーツクラブ研究会の開催）					
	位置づけ	関連計画	スポーツ基本計画（国）、第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令	スポーツ基本法						
	対象者	市民	事業期間	平成16年度～					
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 5回 バドミントン交流会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 6クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 5クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 3クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 1クラブ	
成果		・研究会の開催によるクラブ間の定期的な情報共有や意見交換、研究会での協議を基にした講習会や卓球交流会等の開催などにより、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図ることが出来た。							
課題		・会員の確保、活動拠点の確保、安定的な財源の確保、運営スタッフの充実、組織力の強化等、各クラブの自立及び経営の安定化に向けた新たな支援の検討。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
成果指標		総合型地域スポーツクラブ加入者数（人）		2,126	2,175	2,182	2,234	2,368	
指標									
他市との比較検証		近隣市町のクラブ設立状況 碧南市1クラブ、安城市2クラブ、知立市1クラブ、高浜市1クラブ、東浦町1クラブ							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,550	1,750	950	450	合計	950,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	250,000 円	
		一般財源	2,550	1,750	950	450	負担金、補助及び交付金	700,000 円	
	職員人件費 ②		1,408	1,567	1,563	1,897			
	総事業費（①+②）		3,958	3,317	2,513	2,347			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	総合型地域スポーツクラブには、実施種目や世代の多様性などの特性から、スポーツ振興のみならず、地域コミュニティの形成や青少年の健全育成、高齢者等の社会参画の場の提供などの役割が期待できるため、市がクラブの育成支援を積極的に行うことはとても有益である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	運営に対する補助金支出については、削減計画に基づき平成25年度から削減をすすめてきており、平成29年度をもって終了となる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	地域住民が主体的な運営ができるよう育成支援するために必要な事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っており、活動の充実やスタッフの資質の向上等、市内各クラブの育成に貢献している。また、中学校区ごとに設立された各クラブは、住民が気軽にスポーツ活動等に参加できる場としての役割を果たすことが出来ている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後について、運営補助金の交付については、削減計画に基づき削減をすすめてきた結果として29年度末をもって終了となりますが、クラブ運営の基本である自主・自立に向け、引き続き、定期的な研究会の開催により、各クラブ間の情報共有や意見交換、アドバイザーからの助言聴取等を図るとともに、各クラブ、運営の安定化に向けた財源確保策等の検討を進めます。					

会計名			体育館施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	体育施設の円滑な管理運営を図る。			主たる内容	○体育施設及び設備の改修工事			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者			事業期間	平成28年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> 自家発電ラジエーター取替修繕 冷温水発生機用冷却水ポンプ取替修繕 冷温水ポンプ取替修繕 受変電設備改修工事 水冷チラー更新工事 中央監視装置更新工事 		<ul style="list-style-type: none"> 吊物設備取替修繕 消火設備取替修繕 外壁改修等工事 空調設備更新工事 弓道場外土改修工事 球場外野クッションフェンス改修工事 電灯変圧器取替工事 便所排気ファン取替工事 	
成果		計画通りに改修できた。施設の老朽化による突発的な修繕への対応も行うことができた。							
課題		施設の老朽化により、予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を考える必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標		各種施設が整いスポーツ活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）			75.4	—	77.8	79.0	80.0
活動指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			39.1	—	44.6	46.0	50
他市との比較検証		体育館施設 安城市2棟（S54、H12）、碧南市1棟（H7）、知立市1棟（S57）、高浜市1棟、西尾市5棟（S54、S59、H4、H5、H21）							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	41,609	132,321	合計	41,609,311円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,001,391円	
		一般財源	0	0	41,609	132,321	工事請負費	39,607,920円	
	職員人件費②		0	0	2,735	2,276			
	総事業費（①+②）		0	0	44,344	134,597			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			<p style="text-align: center;">体育館施設改修事業</p>	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	7	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	市民が利用できる施設の維持に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
維持管理のための計画的な施設改修、修繕が必要である。					

会計名			スポーツリーダー養成講座事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	スポーツ			
		施策の内容	スポーツ指導者の育成			
	目的	高齢化社会の進展、余暇時間の増大等に伴い、生涯スポーツ活動を推進するため、その推進役となるリーダーを育成し、市民スポーツ活動の活性化、継続化を図る。	主たる内容	○専門知識や実績を有する講師によるスポーツリーダー養成講座の開催		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン			
		根拠法令				
		対象者	市民	事業期間	平成7年度 ~	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（3コマ） 【講座メニュー】 スポーツ栄養学 スポーツ障害の予防とストレッチング（座学・実技）		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（3コマ） 【講座メニュー】 スポーツにおける体幹の重要性（座学・実技） トップ選手が行う外傷予防トレーニング		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 効果、効率を考えたトレーニング テーピング		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（3コマ）	

成果	・日々進歩する専門知識や最新のスポーツ科学を取り入れた研修機会を継続的に提供することにより、参加者のスポーツリーダー、指導者としての資質や知識の向上に寄与することができた。
----	--

課題	・現状、生涯学習指導者名簿等への掲載のみである養成したリーダーを活用するシステムの、さらなる拡充。 ・参加者数の増加に向けた、実際の現場で活躍されている指導者たちへの効率的、効果的な啓発や講座内容の選定の際のニーズの把握。 ・総合運動公園指定管理者が開催している同種の講座との棲み分け
----	--

指標名称（単位）		実績値			目標値	
		26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
活動指標	スポーツリーダー養成講座修了者数（人）	44	45	37	50	50
指標						

他市との比較検証	
----------	--

単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
事業費 ①		108	115	97	151	合計	97,182 円	
財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円	
	一般財源	108	115	97	151	需用費	61,182 円	
職員人件費 ②		1,056	1,175	782	379			
総事業費（①+②）		1,164	1,290	879	530			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		28年度特定財源名称				
	28年度までの累積事業費	0						
	30年度以降の事業費見込	0						

会計名			スポーツリーダー養成講座事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民がスポーツを継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知教育大学等の教育機関及びホームタウンパートナーチームと協働して、講座のメニュー作りから指導まで一環して行い、産官学連携したスポーツ推進に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	第2次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、プランに掲げる基本理念やテーマを実現するために、市が主体的に実施していく必要があると考えている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、指導者の資質の向上等に貢献している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	市民のスポーツ活動が多様化、高度化し、指導者へのニーズも質・量ともに増大しており、指導者には、豊かな人間性、競技の専門性、スポーツ環境や条件の管理能力などが求められておりますので、今後については、技術指導だけでなく、スポーツの多様な楽しみ方の指導など、幅広いマネジメントができる指導者の育成に努めます。 また、講座のテーマや回数については、現場の声やスポーツを取り巻く時代の潮流等も参考に決定を行います。				

会計名 一般会計		愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派				担当部	教育部		
款	項	目	遣事業				担当課	スポーツ課	
10	7	2					担当係	指導係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市代表選手を派遣し、市民にPRすることで、競技の普及を図るとともに、刈谷市を含めた愛知県内の市町村スポーツ振興に寄与する。	主たる内容	愛知県が後援している愛知県陸上競技協会及び東海テレビ放送が開催する大会に刈谷市より選手を派遣する事業を実行委員会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	選抜選手並びに実行委員		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		各部門2名計22名の選手を選出し、数回の合同練習会を行った。 総合順位 第16位		各部門2名計18名の選手を選出し、数回の合同練習会を行った。 総合順位 第9位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 総合順位 第10位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行う。 目標順位 第7位入賞	
成果		大会を通じて愛知万博を次世代へ継承するとともに、競技者育成、市町村相互の交流及びスポーツ振興を図ることができた。							
課題		世代ごとの選手選考及び発掘が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標		総合順位（位）			16	9	10	7	5
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		250	270	270	270	合計	270,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000円	
		一般財源	250	270	270	270			
	職員人件費②		2,112	3,917	3,908	3,035			
	総事業費（①+②）		2,362	4,187	4,178	3,305			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	各種目毎に参加者相互の情報交換と交流を深めるとともに、スポーツの普及振興に寄与するため大会を開催する。		主たる内容	○専門の知識と実績を有する団体等への事業委託による各種スポーツ大会の開催				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・スポーツ大会等の開催 一人卓球 798人 ソフトバレーボール 128人 ミニテニス 220人 ユニホッケー 86人 GOGOウォーキング113人 参加者数 計1,345人		・スポーツ大会等の開催 一人卓球 708人 ソフトバレーボール 171人 ミニテニス 86人 ユニホッケー 98人 GOGOウォーキング168人 参加者数 計1,231人		・スポーツ大会等の開催 一人卓球 698人 ミニテニス 100人 ユニホッケー 70人 GOGOウォーキング150人 参加者数 計1,018人		・スポーツ大会等の開催 一人卓球 ミニテニス ユニホッケー GOGOウォーキング	
成果		・市民が気軽に参加できる大会を開催することにより、選手間の交流が深められた。また、日頃のスポーツ活動の成果を発揮できる場を提供することにより、競技力や取組み意欲の向上を図ることが出来た。 ・誰もが、いつでも、どこでも、手軽に始められ、継続して行うことが出来るスポーツであるウォーキングの大会を開催することにより、普段スポーツに関わりの少ない市民にスポーツを始めるきっかけ作りを行うことが出来た。							
課題		・競技団体による自主的な大会開催への移行促進。 ・競技者が大会に参加したくなるような効果的、効率的な啓発。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		各種大会、イベント参加者数（人）		12,685	12,792	12,689	13,000	13,000	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		580	575	480	489	合計	479,900 円	
	財源	特定財源	207	186	144	195	役務費	50,900 円	
		一般財源	373	389	336	294	委託料	429,000 円	
	職員人件費 ②		1,760	1,959	1,954	1,897			
	総事業費（①+②）		2,340	2,534	2,434	2,386			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0		大会参加料			
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			ニュースポーツ普及事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	生涯スポーツの振興にあたり、市民が手軽に楽しめる環境づくりを推進するため、ニュースポーツを広く紹介する。	主たる内容	○刈谷市スポーツ推進委員協議会への委託によるスポーツふれあいday等の開催					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・スポーツふれあいday 開催回数 8回 一般参加者数 232人 種目 ディスクドッチ チャンスペタ キンボール ペタンク ユニホッケー		・スポーツふれあいday 開催回数 12回 一般参加者数 265人 種目 ノルディック・ウォーク ディスクドッチ キンボール ペタンク ユニホッケー		・スポーツふれあいday 開催回数 20回 一般参加者数 747人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール 等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数12回 一般参加者数 303人		・スポーツふれあいdayの開催 （支部開催及び全体会） 種目 ソフトバレーボール ノルディック・ウォーク ミニテニス 等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催（月1回）	
成果		・ふれあいdayについて、スポーツ推進委員協議会の北・中・南部の各支部による各地域での開催（各年6回開催）という手法を導入したことに加え、新たに、誰もが手軽に始められ、継続して行うことができる「ノルディック・ウォーク」の体験会を開始したことにより、子どもから高齢者まで、より多くの市民に、スポーツを始める、スポーツに親しむきっかけ作りを行うことができた。							
課題		・スポーツをしていない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加したくなるような効率的、効果的な啓発。 ・競技種目の継続実施を希望する方々に向けた、既存競技団体等への橋渡しや受け皿の確保。 ・効率的なイベント開催によるスポーツ推進委員の負担の軽減							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		スポーツふれあいday等開催回数(回)		8	12	32	30	30	
成果指標		スポーツふれあいday等一般参加者数(人)		232	265	1,050	960	1,020	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		200	200	200	200	合計	200,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	200,000 円	
		一般財源	200	200	200	200			
	職員人件費 ②		704	783	1,172	1,138			
	総事業費（①+②）		904	983	1,372	1,338			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名		各種大会出場選手激励事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	指導係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	各競技団体などが主催する全国大会等に、刈谷市から出場する選手に対して激励金を交付することにより、大会での活躍を激励するとともに、各競技の技術向上を図り、社会体育全体の普及振興に資することを目的とする。	主たる内容	国際大会、全国大会、愛知スポーツレクリエーションフェスティバル等に出場する選手を激励し、補助を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	全国大会出場届提出者	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		699人/2,717,500円		836人/2,707,500円		751人/2,863,000円		交付見込人数 800人 見込金額 2,700,000円	
成果		本市からオリンピックへ出場する選手に対して、激励金を交付するとともに、壮行セレモニーを開催するなど、大会の活躍を願い激励した。また、各種大会出場選手への激励並びに補助を行い、スポーツ振興と競技力向上に努めるとともに、全国大会等出場選手の把握に努めることができた。							
課題		各種大会出場選手に対し、各種大会出場事業の交付基準を広く周知していく必要がある。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	交付人数（人）			699	738	751	800	800
	指標								
	他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,718	2,708	3,072	2,700	合計	3,071,860円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	2,863,000円	
		一般財源	2,718	2,708	3,072	2,700	需用費	208,860円	
	職員人件費 ②		2,464	1,959	1,954	1,138			
	総事業費（①+②）		5,182	4,667	5,026	3,838			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			かきつばたマラソン大会開催事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	マラソン競技者の拡大及び市民のスポーツ競技の参加意欲の増進を図り、体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図る。	主たる内容	年齢別男女別の1.5、3、10kmのマラソンコースと誰でも気軽に参加できるジョギングコースを設定し、市民マラソン大会を開催する。						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和48年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O A 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催したが、天候に恵まれず1,374人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催したが、天候に恵まれ1,870人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催したが、天候に恵まれ1,759人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、2,000人の参加者を見込む。		
成果		ジョギング及びランニングブームの中、気軽に参加できるスポーツイベントとして多くの市民の参加があり、市民の体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図ることができた。								
課題		他市の大会時期と重なることもあり、申込しやすい環境作りや事前の広報などPRを図り、参加者の増加に努めるとともに、参加者の安全面を第一に配慮した運営を実施していくため、適正なボランティアスタッフの確保や参加者数に対応したコース変更の検討が必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
活動指標	参加者数（人）		1,374	1,870	1,759	2,000	—			
指標										
他市との比較検証	県内の多くの自治体で、同様の市民マラソン大会が実施されている。 （知立市・安城市・岡崎市・東浦町・大府市・高浜市・みよし市・犬山市など）									
C事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		2,235	2,131	1,949	2,015	合計	1,948,848円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	17,000円		
		一般財源	2,235	2,131	1,949	2,015	原材料費	425,088円		
	職員人件費②		5,632	4,701	4,689	3,794	負担金、補助及び交付金	1,506,760円		
	総事業費（①+②）		7,867	6,832	6,638	5,809				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷市体育協会補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	クラブ・団体の育成							
	目的	本市における体育・スポーツ団体を統括するとともに、市民スポーツの普及振興を図り、市民の健全な心身の発展に寄与することを目的に活動する刈谷市体育協会に対し補助を行う。			主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ活動の向上等に関する調査研究 スポーツ団体の育成・強化 スポーツ団体への情報提供 スポーツ大会等の実施 体育施設の充実等についての指導及び助言 その他目的の達成に必要な事業の実施 				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市体育協会加盟団体			事業期間	昭和34年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 協会組織の強化を図るための調査、研究 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 協会組織の強化を図るための調査、研究 各種国際大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組 		
成果		各種事業を実施し、市民スポーツの普及振興を図るとともに、スポーツ少年団への補助やスポーツ振興事業開設補助によりジュニア育成事業の一層の推進を図り、本市の将来を担う競技者の育成を図った。また、刈谷市と協働し、国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組を行い、「みる・ささえるスポーツ」の普及に努めた。								
課題		本市における体育・スポーツ団体の中心的な組織として、継続した活動を行うため、安定した財源確保に努めていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		加盟人数（人）			12,662	12,241	12,076	13,000	13,000	
指標										
他市との比較検証		公益財団法人・・・豊橋市・豊田市・小牧市・名古屋市・岡崎市 NPO法人・・・犬山市・安城市								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		4,550	5,906	4,550	4,550	合計		4,550,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		4,550,000円	
		一般財源	4,550	5,906	4,550	4,550				
	職員人件費②		5,632	7,834	7,815	7,587				
	総事業費（①+②）		10,182	13,740	12,365	12,137				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
		28年度までの累積事業費		0						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷市レクリエーション協会補助事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	クラブ・団体の育成						
	目的	市民の健康と文化の向上並びに健全なスポーツ・レクリエーション活動の実施、普及を目的とし活動する刈谷市レクリエーション協会に対し補助を実施する。			主たる内容	市内のスポーツ・レクリエーション団体を東ね、各団体の指導育成、各種大会の開催及び指導者養成などの事業を実施する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市レクリエーション協会加盟団体	事業期間	昭和22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 	
成果		市民の健康と文化向上を図るため、各種スポーツ・レクリエーション活動を実施するとともに、加盟団体の支援・育成に努め、更なる生涯学習活動の振興が図られた。							
課題		市内のスポーツ・レクリエーションの更なる普及・振興を図るため、協会所属団体が主体性を持って継続的、組織的に活動できる仕組みと次代を担うレクリエーションリーダーの養成が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		加盟人数（人）			1,583	1,698	1,609	1,700	1,750
指標									
他市との比較検証		【他市県レクリエーション協会加盟状況】 名古屋市、豊橋市、一宮市、碧南市、西尾市、稲沢市、日進市、岩倉市、豊明市、北名古屋市、清須市、長久手市、あま市、弥富市（H29～）、							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,920	1,920	1,920	1,920	合計 1,920,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,920,000 円		
		一般財源	1,920	1,920	1,920	1,920			
	職員人件費 ②		4,928	5,484	5,471	5,311			
	総事業費（①+②）		6,848	7,404	7,391	7,231			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の管理及び運営を指定管理者に行わせることにより住民サービスの向上と経費削減を図る。	主たる内容	○体育施設の管理、運営 ○体育施設の利用受付 ○自主事業の開催					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例						
	対象者	施設利用者	事業期間	平成19年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営	
成果		効率的な管理運営が行われている。民間のノウハウを生かした各種事業が実施された。毎年、安定して多くの利用がある。自主事業の教室の参加者数も毎年増加している。							
課題		都市公園内に施設があるため、管理区域に区分が生じ、利用者への対応がとりにくい面があった。10年が経過し、ウェーブスタジアム刈谷の3種公認更新を含め、今後の施設の維持管理計画を考えていく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
	成果指標	各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）	75.4	—	77.8	79.0	80.0		
	成果指標	週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）	39.1	—	44.6	46.0	50		
他市との比較検証	他市の施設管理、指定管理 直営 安城市、豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 知立市、碧南市、高浜市								
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		264,334	262,346	252,795	274,431	合計	252,795,259 円	
	財源	特定財源	37,986	41,053	55,730	41,475	需用費	56,820,544 円	
		一般財源	226,348	221,293	197,065	232,956	役務費	1,000,990 円	
	職員人件費 ②		3,168	3,525	4,298	3,809	委託料	190,706,600 円	
	総事業費（①+②）		267,502	265,871	257,093	278,240	使用料及び賃借料	4,267,125 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		使用量及び手数料 諸収入					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			体育館等施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	業務係		
10	7	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放							
	目的	刈谷市内の体育施設（刈谷市体育館他7施設）の施設管理及び運営を指定管理者に行わせるなど効率的に行い、円滑な管理運営を図る。	主たる内容	○体育施設の管理、運営 ○体育施設の利用受付						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例							
	対象者	施設利用者	事業期間	平成19年度～						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		
成果		指定管理を行っている施設の経費節減が図られた。毎年、安定して多くの利用がある。								
課題		指定管理範囲外の施設の、より円滑な管理運営方法の検討。体育館の施設維持老朽化対策。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標	各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）		75.4	—	77.8	79.0	80.0			
成果指標	週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		39.1	—	44.6	46.0	50			
他市との比較検証	他市の状況、指定管理 豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 直営 安城市、知立市、碧南市、高浜市									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		145,119	154,009	142,091	167,221	合計	142,091,367 円		
	財源	特定財源	34,302	28,642	34,473	33,546	需用費	3,557,954 円		
		一般財源	110,817	125,367	107,618	133,675	役務費	296,922 円		
	職員人件費 ②		3,168	3,525	3,517	3,794	委託料	138,235,891 円		
	総事業費（①+②）		148,287	157,534	145,608	171,015	使用料及び賃借料	600 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		使用量及び手数料						
30年度以降の事業費見込		0		財産収入 諸収入						

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の円滑な管理運営のため必要な整備を行い、施設の適切な運用を図る。	主たる内容	設備の修繕及び整備工事					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	施設利用者	事業期間	平成21年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ウェーブスタジアム刈谷 電話設備更新工事 観客席取替工事 グリーングラウンド刈谷 天然芝張替修繕 		<ul style="list-style-type: none"> ウイングアリーナ刈谷 電動ロールスクリーン修繕 エレベーター改修工事 他 ウェーブスタジアム刈谷 空調機修繕 音響設備整備工事 他 国道23号下駐車場整備工事 		<ul style="list-style-type: none"> ウイングアリーナ刈谷 フロア図面版修繕 ウェーブスタジアム刈谷 場内時計システム修繕 女子トイレ工事 監視カメラシステム改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> ウイングアリーナ刈谷 メインアリーナ床修繕 ウェーブスタジアム刈谷 エレベーター改修工事 	
成果		計画通り整備できた。							
課題		今後、施設の老朽化による突発的な対応と、計画的な改修が必要になる。							
O実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	成果指標	ウイングアリーナ刈谷利用者数（人）			336,980	339,056	335,295	340,848	351,954
他市との比較検証	公認陸上競技場 第1種 名古屋市 第2種 豊田市、知多市 第3種 名古屋市、豊橋市、豊川市、一宮市、半田市								
C事業コスト	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①	38,850	111,026	9,166	5,058	合計	9,165,960 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	622,080 円	
		一般財源	38,850	111,026	9,166	5,058	工事請負費	8,543,880 円	
	職員人件費 ②	1,760	1,959	2,662	2,281				
	総事業費（①+②）	40,610	112,985	11,828	7,339				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			体育館施設補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	体育館等の施設の円滑な管理運営を図る。 補正 体育館の外壁が経年劣化により多数の 爆裂が発生している。利用者が施設を利用す る際に、外壁が落ちてきて怪我をしてしま うことが予想される程、危険な状態であり、早 急に改修を行う必要がある。	主たる内容	補正内容 体育館外壁の改修					
	位置 づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
						・体育館外壁補修			
成果		施設の老朽化により補修が必要な箇所の対応ができた。							
課題		施設の老朽化により、予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を考える必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果 指標		各施設が整いスポーツ活動などに取り組みやすいと 思う市民の割合（％）			75.4	—	77.8	79.0	80.0
成果 指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			39.1	—	44.6	46.0	50
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （予算）	28年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	999	0	合計	999,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	999,000 円	
		一般財源	0	0	999	0			
	職員人件費 ②		0	0	16	0			
	総事業費（①+②）		0	0	1,015	0			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			学校開放事務費事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	スポーツ課		
10	7	3					担当係	普及係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放							
	目的	学校教育に支障のない範囲で、小中学校の体育施設を地域住民のスポーツ活動の利用に供し、市民の健康の保持増進と体力の向上を図る。	主たる内容	○各小中学校開放運営委員会及び管理指導員による施設開放の実施 ○学校開放施設の修繕 ○競技用備品の購入						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
			根拠法令	刈谷市立小中学校体育施設等のスポーツ開放に関する規則						
		対象者	市民	事業期間	昭和52年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・利用件数 9,757件 ・利用人数 218,547人		・利用件数 9,876件 ・利用人数 209,476人		・利用件数 9,745件 ・利用人数 207,263人		・利用件数 10,000件 ・利用人数 210,000人		
成果		・多くの市民にスポーツ活動の場を提供することができ、一市民スポーツの推進が図られたとともに、市民の健康の保持増進と体力の向上に寄与することができた。								
課題		・施設利用の効率化や各学校の開放運営委員会事務担当者の負担の軽減等を図るための、学校スポーツ開放のあるべき姿や実施方法等の見直し、検討。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
活動指標	学校スポーツ開放登録人数（人）		11,539	10,532	10,572	11,000	11,000			
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		20,249	20,039	20,689	15,521	合計	20,689,188円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	11,567,400円		
		一般財源	20,249	20,039	20,689	15,521	需用費	6,476,988円		
	職員人件費②		2,816	3,134	3,126	3,035	委託料	1,478,400円		
	総事業費（①+②）		23,065	23,173	23,815	18,556	備品購入費	1,166,400円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			指定管理者選定事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	3					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	選定委員会を設置し、ウイングアリーナ刈谷他2施設の指定管理者を公募し、選定する。	主たる内容	指定管理者選定委員会を設置、次期指定管理者の公募選定					
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者			事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
-		-		・指定管理者選定委員会開催（3回）により指定管理者を選定		-			
成果		懸案であった公園一体管理を含めた次期指定管理者を選定することができた。							
課題		1団体のみ応募であったことと、指定管理範囲を公園部分まで広げたため比較検討をしにくい面があった。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標		効率的な行政運営が行われていると思う市民の割合（%）			56.7	-	58.2	57.2	59.1
指標									
他市との比較検証		他市の状況 指定管理 豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 直営 安城市、知立市、碧南市、高浜市							
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	162	0	合計	161,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	89,600 円	
		一般財源	0	0	162	0	委託料	72,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	2,454	0			
	総事業費（①+②）		0	0	2,616	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			スポーツ推進委員事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ指導者の育成							
	目的	地域のスポーツ推進のために活動するスポーツ推進委員の支援を行う。	主たる内容	○自主事業の開催 ○啓発冊子の発行 ○市民の要望に応じた実技指導の実施 ○学校、公民館等の教育機関その他行政機関が行うスポーツ行事又は事業への協力 ○定例会議の開催 ○研修会等への参加						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令		スポーツ基本法、刈谷市スポーツ推進委員に関する規則						
		対象者	市民、スポーツ推進委員	事業期間	昭和37年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 24回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 30回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 35回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 ・地域への推進員派遣 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		
成果		・地域のスポーツコーディネーターとして、一市民一スポーツの推進に寄与することができた。 ・定例会のうちの支部会及び部会について、従来の隔月開催を、総会での議決を経て平成29年1月開催分より毎月開催に変更したことにより、スポーツ推進委員間の情報共有や交流促進、連携強化等がなされ、事業等をいっそう円滑に実施することが出来るようになった。								
課題		・スポーツ推進委員の資質の向上と技能の習得。 ・人口等に比した適切な人数の確保及び推進委員の高齢化への対策。 ・委員の選定方法や報酬額についての検討。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		39.1	—	44.6	46.0	50.0		
指標										
他市との比較検証		近隣市の推進委員の数及び委員1人あたりの人口（愛知県調査「平成28年度生涯スポーツの実態」より） 刈谷市50人／3,003人 碧南市30人／2,404人 安城市57人／3,284人 知立市30人／2,379人 高浜市25人／1,906人 岡崎市118人／3,262人 西尾市65人／2,639人 豊田市156人／2,711人								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		509	744	1,227	588	合計 1,227,297 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	170,900 円		
		一般財源	509	744	1,227	588	需用費	917,200 円		
	職員人件費 ②		2,112	2,350	2,345	2,276	役務費	87,020 円		
	総事業費（①+②）		2,621	3,094	3,572	2,864	委託料	6,577 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
	28年度までの累積事業費		0							
	30年度以降の事業費見込		0							